

1. 願書締切日— 締め切り直前までまたないで、早めに準備して申請してください。

秋学期の締切日は6月1日、春学期の締切日は11月1日です。すべての書類がこの締切日までに着くようにしてください。多くの方々が締切日の直前に申請しますが、余裕をもって申請していたださないと、学校アパートの入居やそれ以外の問題に対応できません。日本と違って、秋学期は8月末から、春学期は1月末から授業が始まります。申請が遅れると開業日に合わせて入国出来なくなるかもしれません。

たまに締切日の後に申請する学生がありますが、約2週間ほど遅れる場合は受け付けますが、それ以上遅れる書類に関しては受け付けません。

一般の留学生は秋から始まる学期のみに申請できますが、ELSPを通して入学する学生は春、秋どちらの学期にも申請することができます。

2. お金を使って代わりに願書を作成してくれる所に、願書の作成を頼む必要はありません。

学校で願書の作成をお助けしています。疑問点がありましたらお気軽にご連絡ください。

- a. 質問はE-mailで送ってください。Wordで作成し添付して下さってもかまいません。
- b. メールを送るさい、必ず名前を記入してください。
- c. 電話で質問される場合は、時間や日にちの計算をされてからお願いします。日本が月曜日の時、アメリカは日曜日であるため電話に出ることができません。日本時間の深夜から早朝にかけてが、一番電話に出やすい時間帯です。

E-mail: elsp@biola.edu 電話番号: 562-906-4533

3. ELSPを通して志願できるプログラム

宣教学(M.A. CSICS)

TESOLは ELSPを通して志願できません。必ず、TOEFLの点数 100(600)を取得しなければなりません。また、すべての博士学位プログラムも TOEFLの点数 100(600)が必要です。

4. 必要書類

- A. 志願書
- B. 推薦状 3通
- C. 成績証明書&卒業証明書
- D. 財政保証書
- E. 財政保証人の銀行残高証明書
- F. 財政保証人の年間収入証明書
- G. 本人および同行する家族のパスポートコピー
- H. 出願料 45ドル

5. 志願書

ELSPを通して宣教文学大学院に志願する場合、**宣教文学大学院志願書**を作成してください。TOEFLの点数がない学生は自動的にELSPを通した条件付の入学志願者となります。だからと言ってELSP志願書と 宣教文学大学院志願書を両方作成する必要はありません。 宣教文学大学院志願書だけを作成してください。

宣教文学大学院志願書 ダウンロード

http://www.biola.edu/grad/downloads/applications/csics_application.pdf

志願書作成時の注意事項

顔を見ながら面接を行わないため、願書が志願者の顔になります。丁寧に作成してください。

名前を書く時、Last name が姓です。**名前は必ずパスポートに記されている名前と一致**しなければなりません。

住所は郵便番号も書いてください。

Education Experience

大学院も卒業していたら、学部と大学院の両方の成績表と卒業証明書が必要です。もし学部や大学院の時、編入されたことがありましたら、必ず志願書に表記してください。通ったすべての学校の成績表が必要です。成績表は出身学校に頼み、**必ず封印したものを直接 Biola ELSP**に送らなければなりません。学生が直接インターネットなどからプリントしたものは認められません。

Conversion and Christian Growth

イエス様と受け入れた日にちを書く欄があります。Date of conversion – 自らイエス様を救い主と受け入れた日にちを書いてください。

その他、の志願書に関する質問はSample Graduate Applicationを参考にしてください。

<http://www.biola.edu/academics/cook/ise/media/downloads/SampleTalbot.pdf>

6. Vocational Objectives Statement(使役計画書)

Submit a 1-2 page typed statement including your vocational objectives and how the program will prepare you for this vocation.

バイオラで勉強する目的、また勉強を終えた後の将来の計画などを1-2枚ほど書いて願書と一緒に送って下さい。

7. 推薦状作成

Pastor, Employer, Academic/Character 3通が必要です。Employerは勤務先の上司にもらってください。もし働いていなかったり、教会で働いているならば主任牧師にもらってください。働いている

人はPastorを通っている教会の牧師先生に書いてもらって下さい。 Academic/Characterは教授からもらってください。もし、卒業してずいぶん時間がたち、教授から推薦状をもらうことが困難な場合は牧師でありながら講義されている方からもらってもかまいません。父親が通っている教会の主任牧師である場合、父親が自分の子供を推薦することができないため、副牧師に推薦状を書いてもらってください。また、兄弟が牧師の場合も推薦人となることができません。すべての推薦状は直接もらったて、他の書類と一緒に送ってください。推薦状は封印してもしなくてもかまいません。

8. 財政保証書

財政保証人は家族、教会、宣教団体、隣人、どなたでもかまいません。全世界、居住地に関係なく可能です。

M.A. プログラムは4年間の財政保証が必要です。学生一人で来られる場合は年間 25,000ドル、家族と一緒に来られる場合、配偶者は年間 8,000ドル、子供一人につき年間 4,000ドルを足して下さい。一年間掛かるすべての経費を足した後、4をかければ全体の金額がでます。

財政保証は必ず公証してください。銀行残高証明書と年間収入証明書は公証しなくてもかまいません。

A. 学生が持っているお金で財政保証する場合

学生本人のお金で財政保証するためには1. 財政保証書を作成し公証して、判子をおす。2. 学生の名前で4年間の学費が入っている銀行残高証明書を提出する。

B. 両親が財政保証人となる場合

財政保証書を作成した後、公証してください。銀行に最低1年間の学費がある残高証明書と年間収入証明書を提出してください。年収は学生を支援しても両親の生活に問題がないほど十分でなければなりません。

C. 2-3人が財政保証する場合

1. 一年間、どれくらい支援するかを決める。財政保証を2-3枚作って2-3人が作成して、すべて公証してください。2. 支援する額が各々の口座に入っている銀行残高証明書を送る。3. 年間収入証明書を送る。 年収は学生を支援しても生活に問題がないほど十分でなければなりません。

例：4人家族がM.A.プログラムでくる場合、一年間で必要な経費は4万ドルです。これを2人に分けて財政保証する場合、一人2万ドルずつ4年間するとするとして、財政保証書にこれを書き公証してください。年間収入証明書を添付してください。

D. 学生と財政保証人が一緒に財政保証する場合

学生が持っているお金と他のスポンサーと一緒に財政保証する場合は。上にあるcの場合と同様です。まず学生が負担する金額を決めます。学生は判子を押した財政保証書と残高証明書を送り、スポンサーは公証した財政保証書、銀行残高証明書、年間収入証明書を送ります。

E. 教会や宣教団体が財政保証する場合

財政保証書を教会/宣教団体の名前で作成して公証してください。 教会/宣教団体の銀行残高

証明書を添付してください。教会/宣教団体の年間収入を証明する書類を添付してください。1年間の決算や予算案など、総収入を証明できる書類です。

F. 引退して年収がない両親が財政保証する場合

両親が引退して年収がない場合、銀行に勉強を終えるまでの経費が入っている銀行残高証明書を送って下さい。両親が財政保証書を作成し、公証して銀行残高証明書と一緒に送ってください。財政保証書の職業欄にRetiredと書いてください。

財政保証書ダウンロード

<http://www.biola.edu/academics/cook/ise/media/downloads/AoSEnglish.pdf>

財政保証情報サイト

<http://www.biola.edu/academics/cook/ise/media/downloads/AoSI20InfoEnglish.pdf>

9. 出願料

締切日の前は45ドル、締切日の後は55ドルです。銀行でアメリカに送るチェックを買って送ってください。チェックの受取人はBiola Universityとしてください。現金を志願書と共に送らないでください。

10. パスポートのコピー

志願者のパスポートをコピーして送ってください。

11. 学校アパートの申し込み

大学院生のための学校アパートはあまり余裕がありません。学生が卒業してアパートを出て行くまで他の学生が入れません。申し込みを受け付けた順に審査をするため、志願書と一緒にアパートの申し込み書も送って下さい。一般的に秋学期は4月末までに申し込みした学生が入れるため、できるだけ早めに申し込みしてください。一人で来られる学生はルームメイトと一緒にアパートと使用することができます。一人で来られる学生の方がアパートに入れるチャンスがあります。春学期は秋学期よりアパートに入れる可能性が低いですが、志願書と一緒に送って下さい。

アパート情報

http://www.biola.edu/grad/downloads/forms/Housing/grad_housing_flyer.pdf

アパートの申請書ダウンロード

http://www.biola.edu/grad/downloads/forms/Housing/grad_housing_app.pdf

すべての書類が届きますと3-4週間内に結果をE-mailでお知らせします。E-mailアドレスを間違えないで書いてください。入学許可がでますと学校の口座番号をお知らせします。Deposit 2,000ドル

を送ってください。Depositを受け取った後、I-20を作りお送りします。I-20が出るまで約1-2週間ほどかかります。I-20は宅配便で受取人払いでおくりします。

I-20は学校が始まる4ヶ月前から受け取ることができます。学生ビザを取得した後も、学校始業日30日まえからしか入国できません。例えば、2011年度秋学期は8月24日に始まりますが、I-20は4月24日以後から受け取る事ができ、ビザを取得した学生は7月24日以後にアメリカに入国できます。

Deposit 2,000ドルは、Enrollment depositに50ドル、Housing depositに200ドル、残りは学費に使われます。(学校アパートに入らない学生はHousing depositをしません。)学生のID番号が学生の口座番号となります。2,000ドルの内、250ドル以外の1750ドル(または1950ドル)が初学期の学費として使われます。Enrollment depositは学校を出るとき、Housing depositは寮を出る時にお返しします。

もし、ビザが発行されず学校にこられない場合はDeposit 2,000ドルをお返しします。

ELSP Website: www.biola.edu/elsp をご覧になってください。